

家庭学習の手引き

おうちの方へ

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにとても大切なものです。小学生のうちに机に向かう習慣を付けておくことが、のちに大きな力となります。学校と家庭とで連携し、望ましい学習習慣を身に付けていきましょう。



(1) 3・4年生の学習の特徴

- 社会科や理科、総合的な学習の時間が始まり、学習の内容が大きく広がります。
- 国語辞典、漢字辞典、地図帳の使い方を学び、自分で調べて学習することが多くなります。自学自習の基礎を学びます。
- 算数では、四則計算（＋、－、×、÷）の基礎基本をしっかりと学びます。

(2) 低学年のときは、おうちの方の支援が学習の習慣付けや意欲付けに大きく影響します。中学年、高学年と、学年が上がるにつれて自分で学習することができるように、少しずつ手を離して行ってほしいと思います。ただ、手を離しても目を離さずに、お子様のがんばりに対する励ましの声かけをお願いします。

(3) 塾や習い事、スポーツ等、お子様もいろいろと予定があると思いますが、短い時間でも必ず机に向かう習慣を付けることができるとよいと思います。学習する時間を家庭でよく話し合って、無理のないように設定してください。

(4) 学習するための環境づくりを意識しましょう。例えば、テレビをつけながら勉強しては、学習内容が身に付きません。テレビやインターネット、ゲーム、携帯電話などのルールを家庭で決めることと合わせて、お子様が落ち着いた環境で学習できるように工夫したり、話し合ったりしましょう。

(5) お子様の学習の様子について、何か気になることがありましたら、担任までお知らせください。

※ 右の内容につきましては、お子様にも配付しています。家庭学習の際の参考にしてください。

目標

- 家に帰ったらすぐに宿題をしましょう。
- 毎日40分（3年生）、50分（4年生）がんばって学習しましょう。（時計を見てはじめてみましょう。）
- 宿題以外にもできそうな学習に挑戦しましょう。



～こんな内容を、こんなやり方でやってみよう～

学習内容	やり方
① 漢字練習	 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字を漢字ノートや自主学習ノートに1行ずつ書きます。行のはじめには、必ずふりがなをふりましょう。その漢字が書けるようになったか、自分でテストを試してみましょう。正しい形で書けているか、よくチェックしましょう。
② 音読・もく読練習	 <ul style="list-style-type: none"> ・音読は、頭をよくするのにこうかがあるといわれています。読み方を工夫することで、さらに頭を使い、レベルアップすることでしょう。会話の部分をその人の気持ちを考えながら読んでみましょう。 ・集中して読書をするのもいいですね。
③ 算数の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・計算ドリルをくり返しおこないましょう。また、今日の授業で勉強した教科書の問題にもう一度チャレンジしてみましょう。
④ 理科・社会の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・その日、学校で学習したところの教科書とノートを見直してみましょう。 ・大切なところはもう一度ノートにまとめてみましょう。
⑤ さらにちょうせん	 <ul style="list-style-type: none"> ・自分でやりたい学習をします。自主学習ノートなどにやり、先生に提出します。（まるつけもしましょう。） ・売っている問題集やドリルなどをやってみるのもいいですね。 ・そのほか、リコーダーやけんばんハーモニカの練習、なわとびやマラソン、英語の学習やタブレットを使った学習などにも挑戦してみましょう。

家庭学習の後に・・・

- ◎ 取り組んだ学習内容と時間を学習カードに記入しましょう。
- ◎ 時間わりを確かめて明日のじゅんびをしましょう。
- ◎ 机の上をかたづけましょう。